

令和5年7-9月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和5年10月16日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和5年9月10日～令和5年9月30日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは309社で、全体の回収率は61.8%となった。回答企業の平均従業員数は44.1人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		88社	51社	58.0%	34.3人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		50	32	64.0	20.1
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		32	20	62.5	22.3
紙 加 工 品 製 造 業		23	9	39.1	23.6
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		58	40	69.0	31.9
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		249	157	63.1	58.8
計		500	309	61.8	44.1

6. 要旨

「業種ごとに傾向が異なり、全体的には停滞が続く」

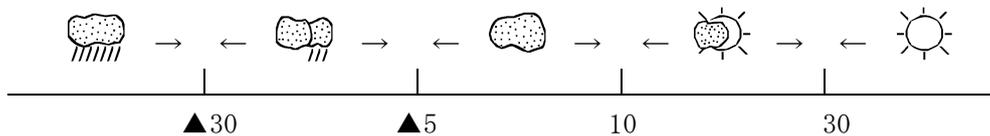
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和4年7-9月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲15.8となり、前回調査(令和5年4-6月期)の▲10.6から5.2ポイント下降している。来期見通しにおいては、14.1ポイント上昇し、▲1.7となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」模様が続いているが、来期見通しでは「曇」模様へ転じる見通しとなっている。

【図表1】

	3年		4年				5年			来期見通
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
全体	▲11.0	▲9.0	▲29.1	▲29.0	▲19.0	▲19.6	▲27.8	▲10.6	▲15.8	▲1.7

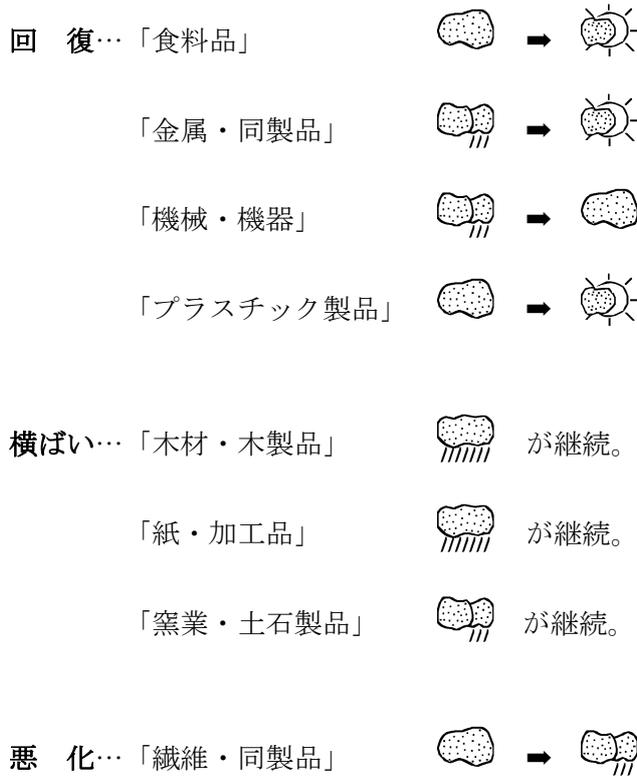
※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



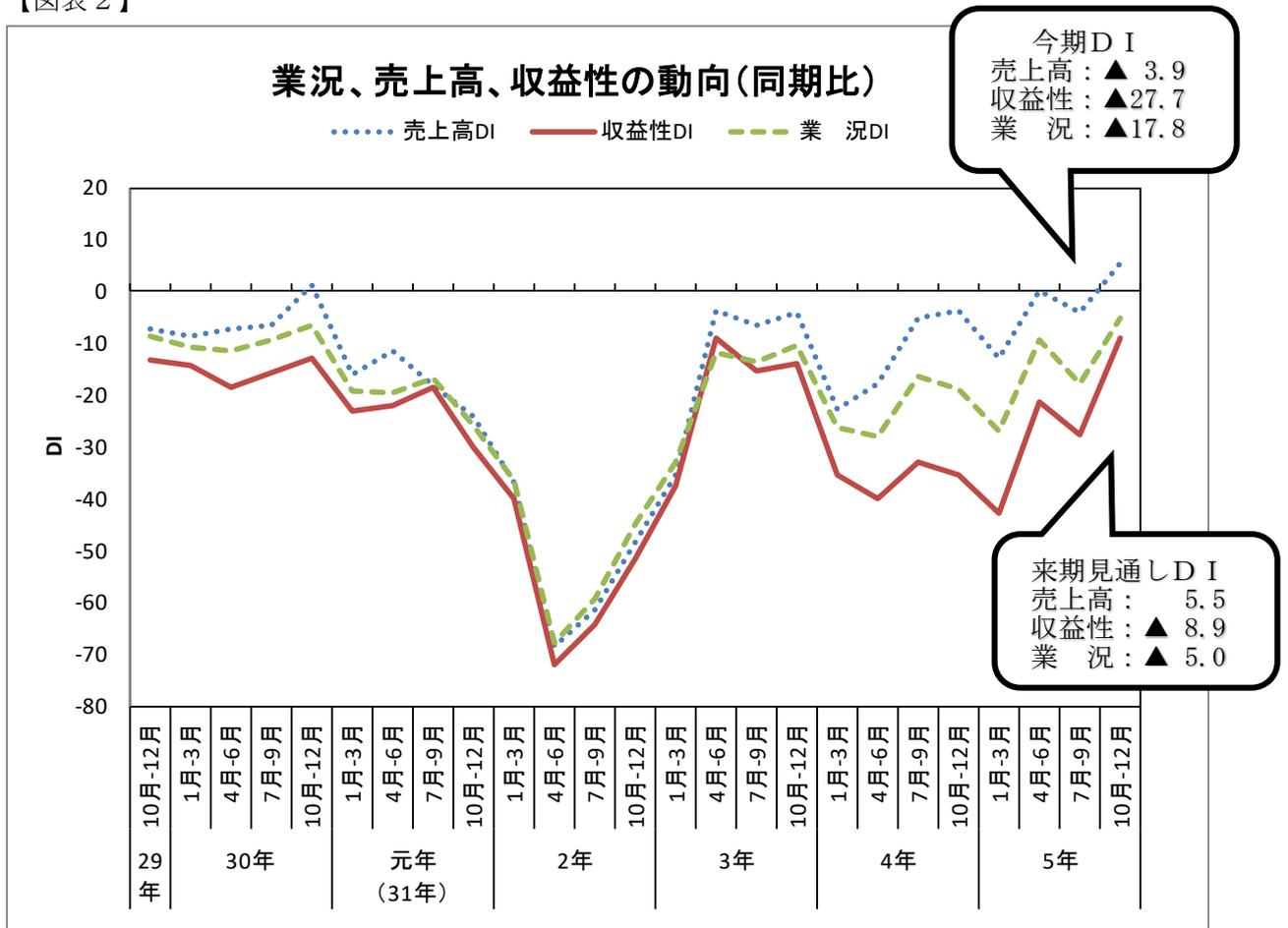
業種別にみると、回復2業種、横ばい3業種、悪化3業種となっている。

- 回復**…「繊維・同製品」 →
- 「窯業・土石製品」 →
- 横ばい**…「木材・木製品」 が継続。
- 「機械・機器」 が継続。
- 「プラスチック製品」 が継続。
- 悪化**…「食料品」 →
- 「紙・加工品」 →
- 「金属・同製品」 →

来期見通しにおいては、回復4業種、横ばい3業種、悪化1業種となっている。



【図表 2】

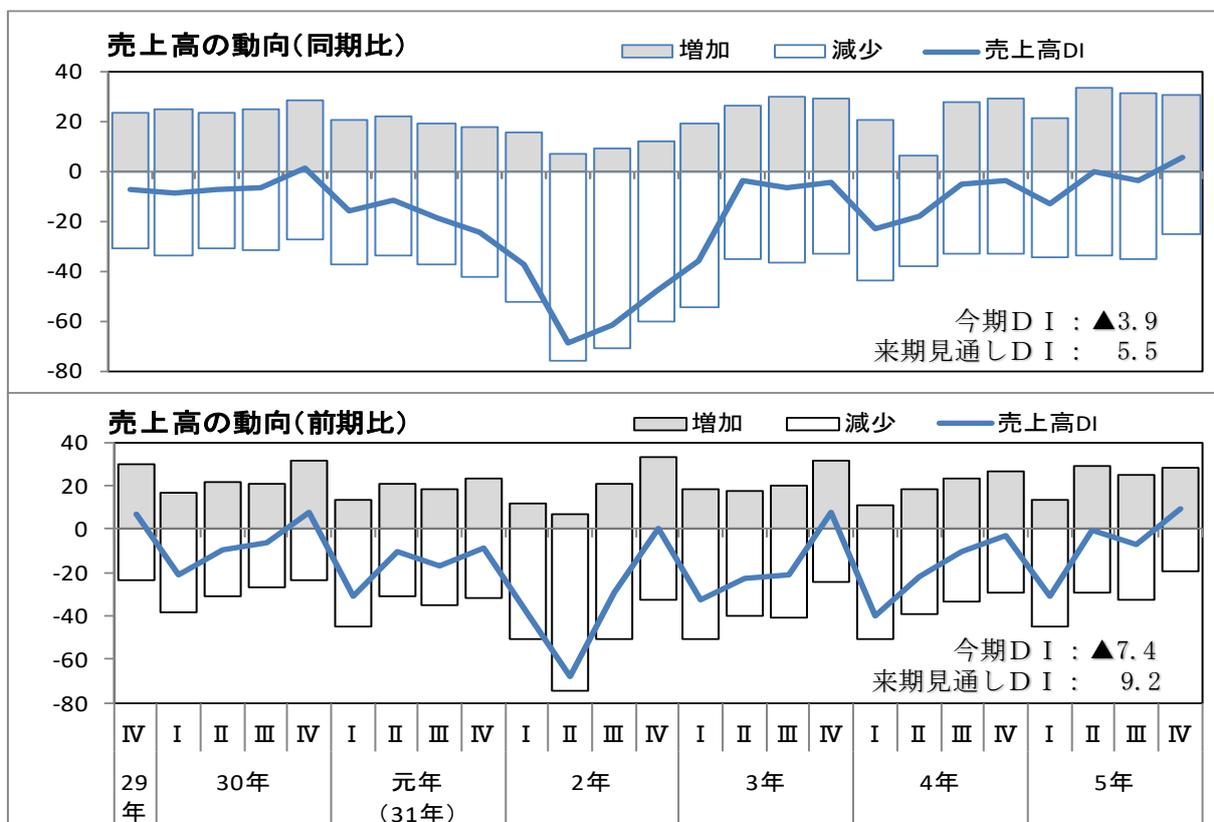


7. 項目別調査結果

(1) 売上高(同期比)

同期比で売上高が「増加」したとする企業は31.5%、「減少」したとする企業は35.4%で、DIは▲3.9となり、前回調査の0.3から4.2ポイント下降している。来期見通しにおいては、9.4ポイント上昇して5.5となる見通しになっている。【図表3、4】

【図表3】



【図表4】

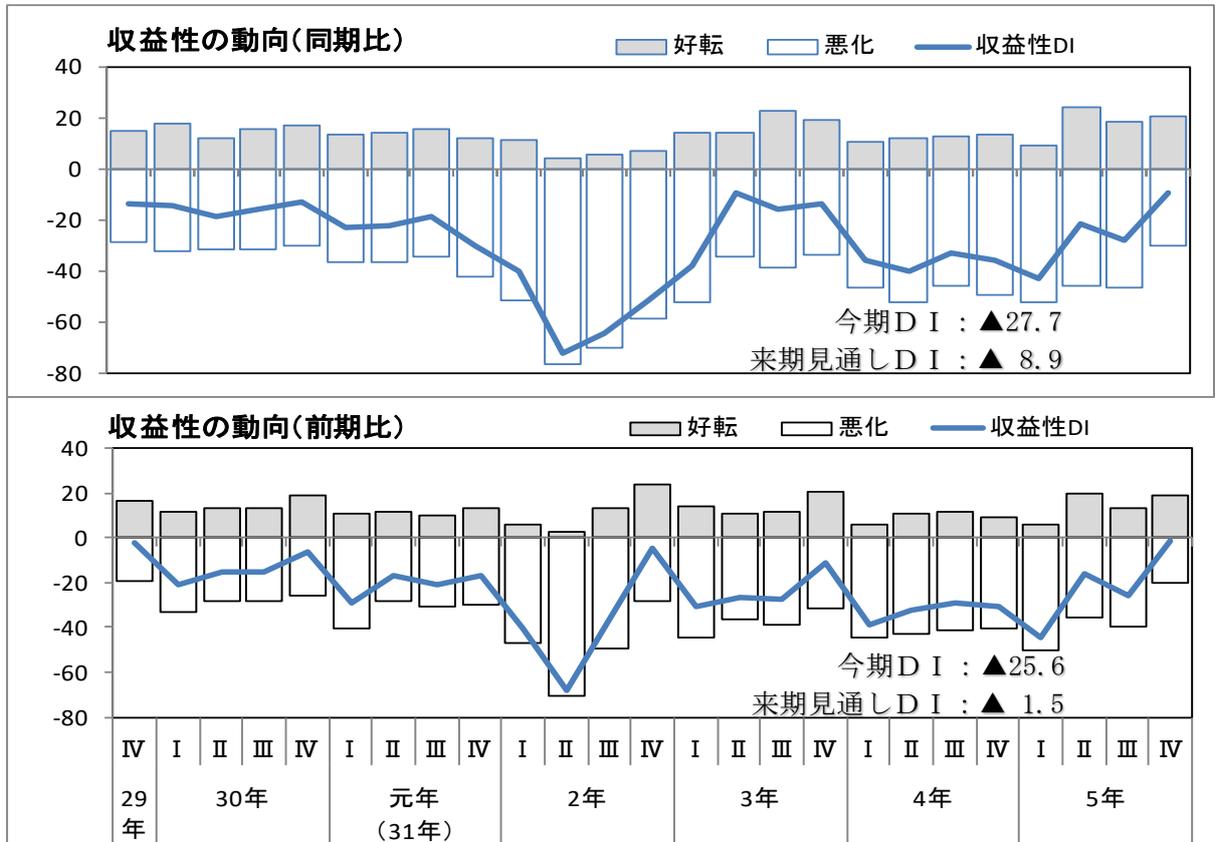
	売上高 同期比			売上高 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食料品	41.2	19.6	21.6	30.0	26.0	4.0
繊維	43.8	28.1	15.7	31.3	21.9	9.4
木材	5.0	60.0	▲55.0	0.0	45.0	▲45.0
紙・加工品	11.1	55.6	▲44.5	22.2	44.4	▲22.2
窯業・土石	20.0	42.5	▲22.5	15.4	33.3	▲17.9
金属	39.3	37.5	1.8	26.3	36.8	▲10.5
機械・機器	27.7	37.3	▲9.6	22.9	34.9	▲12.0
プラスチック	41.2	23.5	17.7	52.9	17.6	35.3
合計	31.5	35.4	▲3.9	24.8	32.2	▲7.4

	売上高見通し 同期比			売上高見通し 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食料品	37.3	15.7	21.6	37.8	13.3	24.5
繊維	37.5	28.1	9.4	25.0	33.3	▲8.3
木材	5.0	45.0	▲40.0	10.0	25.0	▲15.0
紙・加工品	11.1	33.3	▲22.2	44.4	22.2	22.2
窯業・土石	20.5	30.8	▲10.3	20.0	17.1	2.9
金属	39.3	21.4	17.9	32.7	22.4	10.3
機械・機器	25.6	24.4	1.2	20.5	19.2	1.3
プラスチック	58.8	23.5	35.3	58.8	0.0	58.8
合計	30.7	25.2	5.5	28.3	19.1	9.2

(2) 収益性(同期比)

同期比で収益性が「好転」したとする企業は18.4%、「悪化」したとする企業は46.1%で、D Iは▲27.7となり、前回調査の▲21.4から6.3ポイント下降している。来期見通しにおいては、18.8ポイント上昇して▲8.9となる見通しになっている。【図表5、6】

【図表5】



【図表6】

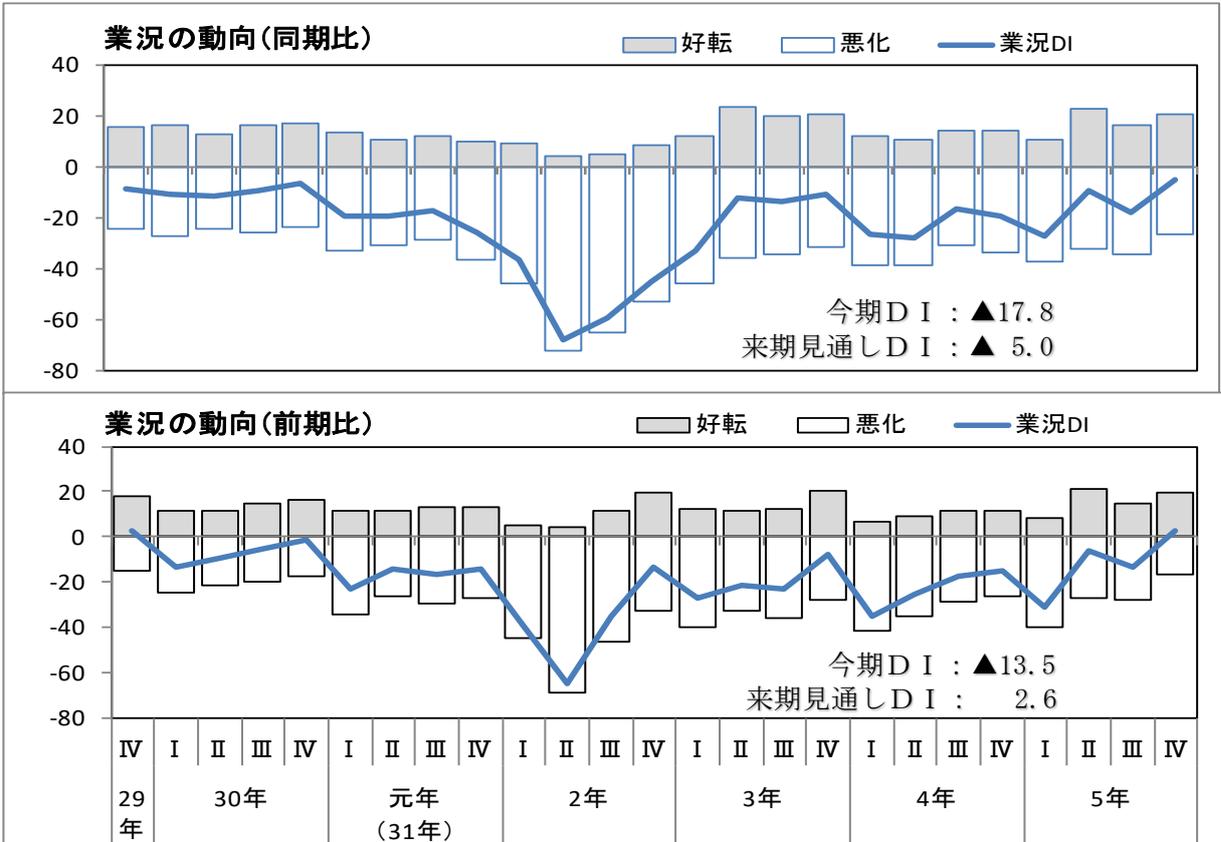
	収益性 同期比			収益性 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	24.4	28.9	▲4.5	20.0	35.6	▲15.6
繊維	21.7	43.5	▲21.8	16.7	33.3	▲16.6
木材	10.0	70.0	▲60.0	5.0	55.0	▲50.0
紙・加工品	0.0	66.7	▲66.7	0.0	55.6	▲55.6
窯業・土石	14.7	38.2	▲23.5	11.4	31.4	▲20.0
金属	16.3	40.8	▲24.5	14.0	40.0	▲26.0
機械・機器	18.8	62.5	▲43.7	11.0	38.4	▲27.4
プラスチック	29.4	41.2	▲11.8	23.5	47.1	▲23.6
合計	18.4	46.1	▲27.7	13.6	39.2	▲25.6

	収益性見通し 同期比			収益性見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	26.7	24.4	2.3	20.0	17.8	2.2
繊維	21.7	47.8	▲26.1	13.0	43.5	▲30.5
木材	5.0	35.0	▲30.0	10.0	20.0	▲10.0
紙・加工品	11.1	55.6	▲44.5	11.1	22.2	▲11.1
窯業・土石	5.9	35.3	▲29.4	8.6	14.3	▲5.7
金属	28.6	24.5	4.1	25.0	20.8	4.2
機械・機器	20.5	24.7	▲4.2	16.4	20.5	▲4.1
プラスチック	41.2	29.4	11.8	52.9	5.9	47.0
合計	21.1	30.0	▲8.9	18.9	20.4	▲1.5

(3) 業況 (同期比)

同期比で業況が「好転」したとする企業は16.2%、「悪化」したとする企業は34.0%で、DIは▲17.8となり、前回調査の▲9.2から8.6ポイント下降している。来期見通しにおいては、12.8ポイント上昇して▲5.0となる見通しになっている。【図表7、8】

【図表7】



【図表8】

	業況 同期比			業況 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	19.6	17.6	2.0	16.0	22.0	▲6.0
繊維	22.6	32.3	▲9.7	12.5	25.0	▲12.5
木材	0.0	60.0	▲60.0	5.0	45.0	▲40.0
紙・加工品	0.0	55.6	▲55.6	0.0	44.4	▲44.4
窯業・土石	10.5	28.9	▲18.4	10.3	20.5	▲10.2
金属	12.5	37.5	▲25.0	12.5	26.8	▲14.3
機械・機器	18.5	37.0	▲18.5	17.3	30.9	▲13.6
プラスチック	35.3	29.4	5.9	35.3	29.4	5.9
合計	16.2	34.0	▲17.8	14.5	28.0	▲13.5

	業況見通し 同期比			業況見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	22.0	20.0	2.0	18.0	16.0	2.0
繊維	25.8	29.0	▲3.2	22.6	29.0	▲6.4
木材	10.0	40.0	▲30.0	10.0	20.0	▲10.0
紙・加工品	11.1	44.4	▲33.3	11.1	22.2	▲11.1
窯業・土石	5.4	29.7	▲24.3	7.7	10.3	▲2.6
金属	25.0	19.6	5.4	21.8	14.5	7.3
機械・機器	20.5	25.3	▲4.8	18.1	18.1	0.0
プラスチック	52.9	29.4	23.5	58.8	5.9	52.9
合計	21.1	26.1	▲5.0	19.4	16.8	2.6

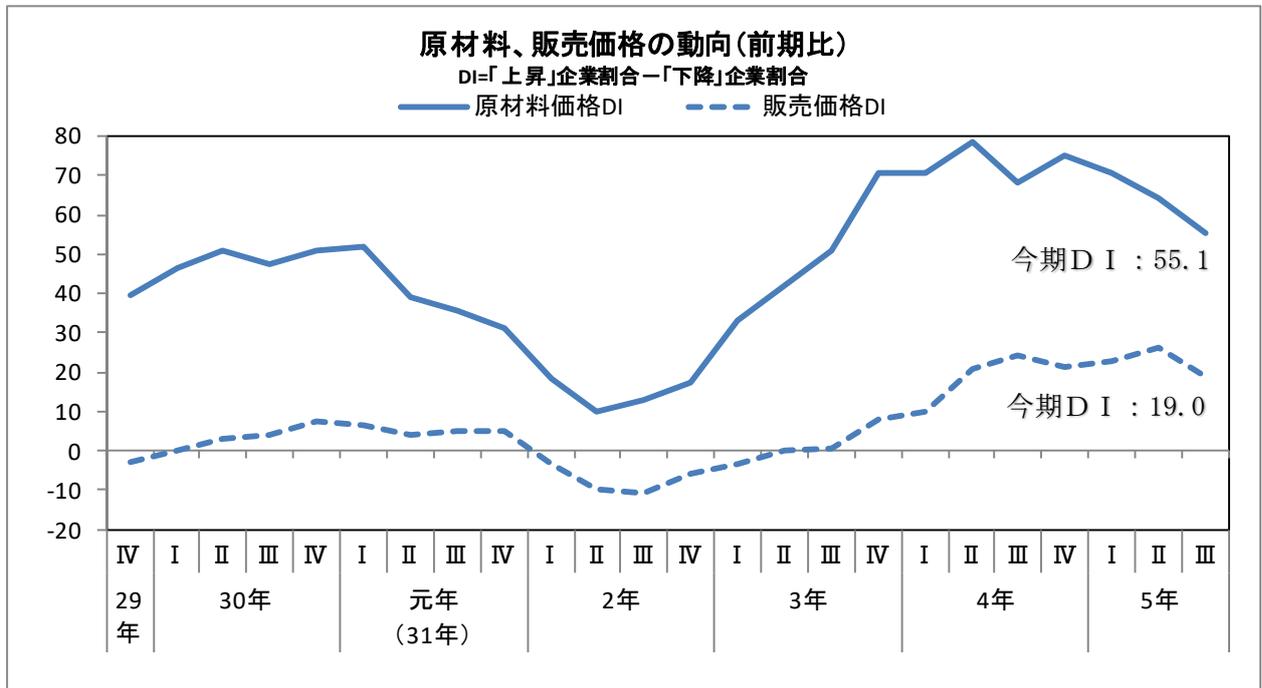
(4) 原材料価格、販売価格（前期比）

原材料価格について、前期比で「上昇」したとする企業は58.1%、「下降」したとする企業は3.0%で、DIについては55.1となり、前回調査の64.3から9.2ポイント下降している。

販売価格については、前期比で「上昇」したとする企業は23.2%、「下降」したとする企業は4.2%で、DIについては19.0となり、前回調査の26.2から7.2ポイント下降している。

【図表9、10】

【図表9】



【図表10】

	原材料価格 前期比			販売価格 前期比		
	上昇	下降	DI	上昇	下降	DI
食 料 品	73.3	4.4	68.9	28.0	6.0	22.0
織 維	75.0	0.0	75.0	21.9	3.1	18.8
木 材	45.0	15.0	30.0	10.0	20.0	▲ 10.0
紙・加工品	55.6	0.0	55.6	22.2	0.0	22.2
窯業・土石	67.6	0.0	67.6	37.5	0.0	37.5
金 属	55.1	2.0	53.1	21.4	1.8	19.6
機 械・機 器	44.4	2.8	41.6	19.5	4.9	14.6
プラスチック	58.8	0.0	58.8	17.6	0.0	17.6
合 計	58.1	3.0	55.1	23.2	4.2	19.0

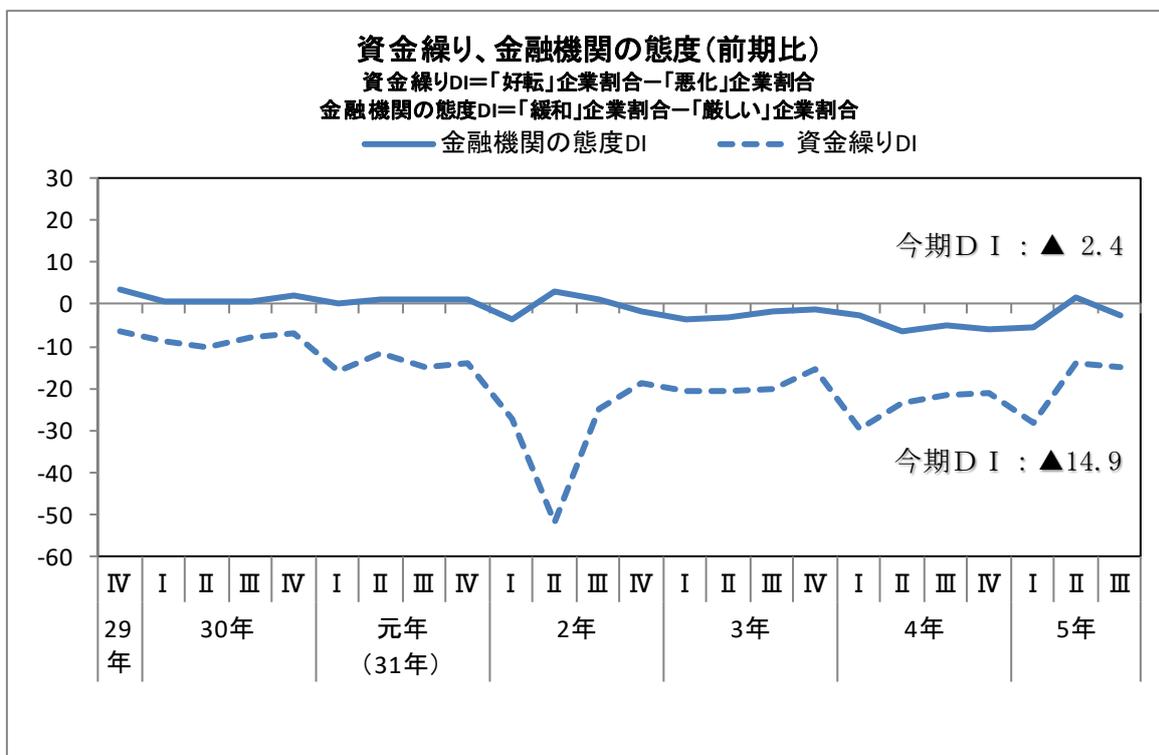
(5) 資金繰り、金融機関の態度 (前期比)

資金繰りについて、前期比で「好転」したとする企業は7.8%、「悪化」したとする企業は22.7%で、DIは▲14.9となり、前回調査の▲14.0から0.9ポイント下降している。

金融機関の態度については、前期比で「緩和」したとする企業は4.6%、「硬化」したとする企業は7.0%で、DIは▲2.4となり、前回調査の1.5から3.9ポイント下降している。

【図表 11、12】

【図表 11】



【図表 12】

	資金繰り 前期比			金融機関の態度 前期比		
	好転	悪化	DI	緩和	硬化	DI
食料品	5.9	19.6	▲ 13.7	4.0	10.0	▲ 6.0
繊維	3.1	12.5	▲ 9.4	6.5	9.7	▲ 3.2
木材	5.0	30.0	▲ 25.0	5.0	15.0	▲ 10.0
紙・加工品	0.0	22.2	▲ 22.2	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	2.6	15.8	▲ 13.2	0.0	5.4	▲ 5.4
金属	10.5	19.3	▲ 8.8	8.9	3.6	5.3
機械・機器	22.6	54.8	▲ 32.2	3.7	7.3	▲ 3.6
プラスチック	5.9	11.8	▲ 5.9	5.9	0.0	5.9
合計	7.8	22.7	▲ 14.9	4.6	7.0	▲ 2.4

(6) 設 備 投 資

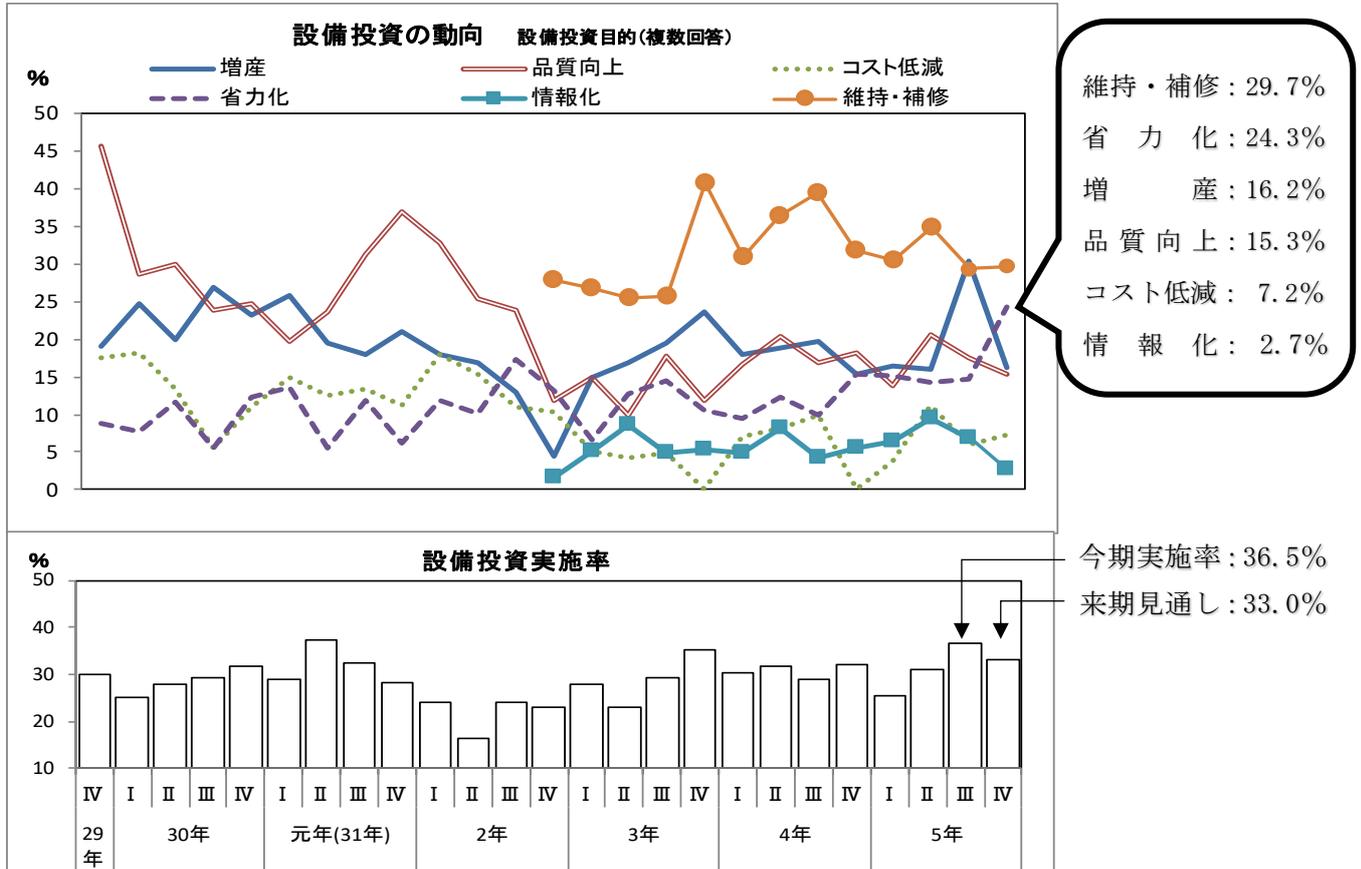
設備投資実施率については36.5%となり、前回調査より5.4ポイント上昇している。なお、目的別にみると「維持・補修」が29.7%でトップとなっている。

来期の設備投資計画率（令和5年10-12月期の設備投資計画）については、今期より3.5ポイント下降し、33.0%となる見通しになっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業は15.5%、「下降」したとする企業は27.3%で、DIは▲11.8となっている。

【図表13、14】

【図表13】



【図表14】

	設備投資			設備操業率 前期比			設備投資計画		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI	実施	不実施	DI
食 料 品	42.9	57.1	▲ 14.2	20.5	18.2	2.3	26.2	73.8	▲ 47.6
織 維	25.0	75.0	▲ 50.0	12.5	20.8	▲ 8.3	21.4	78.6	▲ 57.2
木 材	25.0	75.0	▲ 50.0	5.0	45.0	▲ 40.0	26.3	73.7	▲ 47.4
紙・加工品	22.2	77.8	▲ 55.6	0.0	33.3	▲ 33.3	0.0	100.0	▲ 100.0
窯業・土石	33.3	66.7	▲ 33.4	8.6	17.1	▲ 8.5	29.4	70.6	▲ 41.2
金 属	35.7	64.3	▲ 28.6	24.5	32.7	▲ 8.2	39.6	60.4	▲ 20.8
機 械・機 器	37.8	62.2	▲ 24.4	9.6	32.9	▲ 23.3	39.2	60.8	▲ 21.6
プラスチック	64.7	35.3	29.4	41.2	17.6	23.6	52.9	47.1	5.8
合 計	36.5	63.5	▲ 27.0	15.5	27.3	▲ 11.8	33.0	67.0	▲ 34.0

【図表 15】

食 料 品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲10.8	 19.0	 8.6	 12.0
①同期比の売上高D I 21.6 ②同期比の収益性D I ▲4.5 ③売上高+収益性のD I 平均値 8.6 →「曇」模様へ転じている 来期見通し (3.4 上昇) 12.0 →「薄日」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I 4.0 ⑤前期比の収益性D I ▲15.6 ⑥雇用人員判断D I 17.8 (不足超) ⑦設備操業率D I 2.3 ⑧設備投資実施率 42.9% ⑨来期の設備投資計画率 26.2%			

【図表 16】

織 維 ・ 同 製 品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲8.2	 ▲11.9	 ▲3.1	 ▲8.4
①同期比の売上高D I 15.7 ②同期比の収益性D I ▲21.8 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲3.1 →「曇」模様へ転じている 来期見通し (5.3 下降) ▲8.4 →「小雨」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I 9.4 ⑤前期比の収益性D I ▲16.6 ⑥雇用人員判断D I 41.7 (不足超) ⑦設備操業率D I ▲8.3 ⑧設備投資実施率 25.0% ⑨来期の設備投資計画率 21.4%			

【図表 17】

木 材 ・ 木 製 品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲69.5	 ▲42.1	 ▲57.5	 ▲35.0
①同期比の売上高D I ▲55.0 ②同期比の収益性D I ▲60.0 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲57.5 →「雨」模様が継続 来期見通し (22.5 大幅上昇) ▲35.0 →「雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲45.0 ⑤前期比の収益性D I ▲50.0 ⑥雇用人員判断D I 0.0 ⑦設備操業率D I ▲40.0 ⑧設備投資実施率 25.0% ⑨来期の設備投資計画率 26.3%			

【図表 18】

紙 ・ 加 工 品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲36.4	 ▲15.4	 ▲55.6	 ▲33.4
①同期比の売上高D I ▲44.5 ②同期比の収益性D I ▲66.7 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲55.6 →「雨」模様へ転じている 来期見通し (22.2 大幅上昇) ▲33.4 →「雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲22.2 ⑤前期比の収益性D I ▲55.6 ⑥雇用人員判断D I 22.2 (不足超) ⑦設備操業率D I ▲33.3 ⑧設備投資実施率 22.2% ⑨来期の設備投資計画率 0.0%			

【図表 19】

窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲47.3	 ▲36.5	 ▲23.0	 ▲19.9
①同期比の売上高D I ▲22.5 ②同期比の収益性D I ▲23.5 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲23.0 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (3.1 上昇) ▲19.9 →「小雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲17.9 ⑤前期比の収益性D I ▲20.0 ⑥雇用人員判断D I 31.4 (不足超) ⑦設備操業率D I ▲8.5 ⑧設備投資実施率 33.3% ⑨来期の設備投資計画率 29.4%			

【図表 20】

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲9.6	 2.4	 ▲11.4	 11.0
①同期比の売上高D I 1.8 ②同期比の収益性D I ▲24.5 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲11.4 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (22.4 大幅上昇) 11.0 →「薄日」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I ▲10.5 ⑤前期比の収益性D I ▲26.0 ⑥雇用人員判断D I 24.5 (不足超) ⑦設備操業率D I ▲8.2 ⑧設備投資実施率 35.7% ⑨来期の設備投資計画率 39.6%			

【図表 21】

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲31.2	 ▲20.4	 ▲26.7	 ▲1.5
①同期比の売上高D I ▲9.6 ②同期比の収益性D I ▲43.7 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲26.7 →「小雨」模様が継続 来期見通し (25.2 大幅上昇) ▲1.5 →「曇」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I ▲12.0 ⑤前期比の収益性D I ▲27.4 ⑥雇用人員判断D I 4.1 (不足超) ⑦設備操業率D I ▲23.3 ⑧設備投資実施率 37.8% ⑨来期の設備投資計画率 39.2%			

【図表 22】

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
 ▲23.1	 0.0	 3.0	 23.6
①同期比の売上高D I 17.7 ②同期比の収益性D I ▲11.8 ③売上高+収益性のD I 平均値 3.0 →「曇」模様が継続 来期見通し (20.6 大幅上昇) 23.6 →「薄日」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I 35.3 ⑤前期比の収益性D I ▲23.6 ⑥雇用人員判断D I 0.0 ⑦設備操業率D I 23.6 ⑧設備投資実施率 64.7% ⑨来期の設備投資計画率 52.9%			

群馬県主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数 (鉱工業)		所定外労働時間 (製造業計)		求人倍率 (季節調整値)		
	原指数	同期比	時間	同期比	新規	有効	
令和3年	96.1	3.4	14.4	9.2%	2.06	1.32	
令和4年	7	106.3	2.8	16.0	0.0時間	2.33	1.48
	8	100.6	24.2	14.9	1.4時間	2.43	1.53
	9	95.7	12.9	15.0	0.6時間	2.26	1.53
	10	105.0	▲4.9	16.2	2.4時間	2.33	1.54
	11	107.6	6.4	15.8	0.9時間	2.37	1.55
	12	99.0	5.2	16.3	1.7時間	2.45	1.56
令和5年	1	76.6	▲28.0	13.7	0.8時間	2.23	1.47
	2	105.8	1.9	15.3	2.2時間	2.04	1.45
	3	125.5	12.4	15.1	0.7時間	2.15	1.40
	4	115.2	22.4	15.4	0.6時間	2.08	1.40
	5	89.7	▲16.3	13.1	0.2時間	2.37	1.43
	6	100.0	0.2	14.0	▲0.7時間	2.16	1.39
	7	103.8	▲2.2	14.5	▲1.4時間	2.34	1.42
	8	—	—	—	—	2.29	1.41
	9	—	—	—	—	—	—
資料	県統計課 鉱工業指数 27年=100		県統計課 毎月勤労統計 規模5人以上		群馬労働局 労働市場速報		

項目 年月	自動車販売台数				
	登録自動車		軽自動車		
	台数	同期比	台数	同期比	
令和3年	58,962	2.2	36,749	▲3.0	
令和4年	7	4,615	▲10.3	3,098	7.2
	8	3,805	▲12.0	2,495	3.8
	9	5,230	23.2	3,493	37.7
	10	4,549	21.8	3,509	55.4
	11	4,856	1.6	3,661	26.0
	12	4,461	▲4.6	3,162	22.7
令和5年	1	5,260	12.6	3,534	24.4
	2	6,120	30.0	3,623	13.6
	3	8,221	17.9	4,493	14.9
	4	4,662	29.5	2,888	10.2
	5	4,491	34.7	2,596	19.1
	6	5,437	30.3	2,867	▲2.5
	7	5,325	16.6	2,908	▲6.1
	8	4,373	14.9	2,839	13.8
	9	—	—	3,905	11.8
資料	群馬県自動車 販売店協会		群馬県軽自動車協会		